

## 第3学年 国 語

### 1 学習の進め方

- (1) 漢字テストを定期的に行い、漢字の学習に取り組みます。
- (2) 教科書に準拠して授業を進めます。
- (3) 自分の考えや友達の発言を、ワークシートに書きましょう。
- (4) わからないことは積極的に質問して理解に努めましょう。
- (5) 班での話し合いや相談の時間を生かして、自分の考えを広げたり深めたりしましょう。
- (6) スタディサプリを使って言語に関わる力を養いましょう。

### 2 学習（授業）上の注意点

- (1) 授業に必要なものを忘れないようにしましょう。  
…教科書、国語ファイル、ワーク、国語便覧（ロッカーに常に入れておく）、  
クロームブック、書写では鉛筆、習字道具など
- (2) 字は楷書を使って、濃く、大きく、ていねいに書く習慣を身につけましょう。
- (3) 提出物はロイロノートで提出してもらいます。しっかり出しましょう。
- (4) 自分から積極的に学習や課題に取り組みましょう。
- (5) 班での話し合いでは、たくさん発言しましょう。
- (6) 教室は失敗をする場所です。失敗や間違いを臆せず自分の考えを発表しましょう。

### 3 家庭学習の進め方

- (1) 日頃から読書等を通して、読む習慣をつけましょう。
- (2) 漢字の知識や文法については各自で復習して知識の定着を図りましょう。
- (3) ワークシートを見直したり、ワークでの演習をしたりすることで復習に努めましょう。
- (4) スタディサプリも復習用に活用してください。

### 4 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) 教科書、ワークシートを見返して、授業内容を思い出しましょう。
- (2) ワークで問題演習を行いましょう。（繰り返し解くことをおすすめします。）
- (3) 暗記をする部分は暗記をし、理解する部分については、内容を何度も見返し、十分に理解できている状態までもっていきましょう。
- (4) 漢字は正しく書けるように繰り返し練習しましょう。
- (5) わからないことがあったら、先生や友達に質問して理解できるようにしましょう。
- (6) 特に、漢字、文法、言語に関わる内容は繰り返し復習に努めましょう。

## 5 3年生での学習内容…授業時間は、週3時間 年間105時間

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	1 深まる学びへ	10月	5 自らの考えを
5月	2 視野を広げて	11月	6 いにしへの心を受け継ぐ
6月	情報社会を生きる 3 言葉とともに	12月	読書に親しむ
7月	読書生活を豊かに	1月	7 価値を生み出す
8月		2月	8 未来へ向かって
9月	4 状況の中で	3月	8 未来へ向かって

※上記以外に書写の授業があります。

## 6 評価・評定について

評価とは、国語で身につけてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

### <観点別評価と評価材料>

#### 観点1 知識・技能

・我が国の伝統的な言語文化に親しみ、言葉の特徴や使い方、漢字、情報の使い方などについて理解し正しく用いる。また文字を正しく整えて速く書く。

(定期考査、漢字テスト、書写等)

#### 観点2 思考・判断・表現

A「話すこと・聞くこと」…相手や場面に応じ、適切に話すこと、表現の工夫を評価して聞くこと、問題解決に向けて話し合うことで、自身の考えを深める。

(発表、スピーチ等)

B「書くこと」…目的や意図に応じ、論理の展開を工夫して書き、また文章を書くことで自身の考えを深める。

(定期考査、ワークシート、作文等)

C「読むこと」…目的や意図に応じ、文章の展開や表現の仕方を評価しながら読み、読書を通して自己の向上を目指す。

(定期考査等)

#### 観点3…主体的に学習に取り組む態度

・国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する認識を深め国語を尊重する。

(定期考査、提出物の提出状況・内容等)

## 第3学年 数 学

数学の授業は、週4時間です。年間を通して少人数の授業を行います。

### 1 学習の進め方

1時間の中でできるだけ多くの問題を扱うようにする。

- (1) 講 義・・・教科書の内容を整理し、問題を解きながら理解する。  
途中の過程を確実に書くようにする。
- (2) 問題 演習・・・教科書の問や黒板に書いた問題を解く。
- (3) ワーク学習・・・授業の進み具合に応じて、進める。
- (4) 宿 題・・・ワークは授業の進み具合に応じて宿題とする。

### 2 学習（授業）上の注意点

- (1) ノートを取ることに。考えるところはしっかりと考えることが大切。
- (2) 解らないことはそのままにせず、解るまで質問する。
- (3) 途中式を必ず書く。
- (4) 間違いを直すときは、その理由を大切に。必ずやり直す。

### 3 家庭学習の進め方

- (1) ワークは授業の進度に合わせて進める。授業の進み具合に応じて宿題とする。  
毎日の復習として取り組む。スタディサプリも活用してください。
- (2) ワークなどの課題は丁寧に取り組む。間違えたときは、もう一度取り組み、間違いを見つけ、直す。解らないときは答えを見て考えてよい。答えだけを書くのではなく、途中の計算過程を書く。

※ワークの進め方※

- ① 自分で解く。答え合わせをする。
- ② 間違えた問題は、どこを間違えたか確認する。
- ③ 解らないときは解答を見ながら考える。
- ④ 解らない問題は先生に聞く。

### 4 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) 試験範囲の問題をやり直す。
- (2) ノートで語句の意味やポイントを確認する。
- (3) 時間があれば、さらにいろいろな問題を解くことにチャレンジする。

## 5 3年生での学習内容（授業時間は、週4時間 年間140時間）

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	第1章 多項式	10月	第5章 相似な図形
5月	第1章 多項式 第2章 平方根	11月	第6章 円 第7章 三平方の定理
6月	第2章 平方根	12月	第8章 標本調査
7月	第3章 2次方程式	1月	3年間のまとめ 演習問題
8月	夏休みのため 授業なし	2月	3年間のまとめ 演習問題
9月	第3章 2次方程式 第4章 関数 $y = ax^2$	3月	3年間のまとめ 演習問題

## 6 評価・評定について

(1) 観点別評価は、下記の項目・割合で算出し達成度によりABCで評価します。

観 点	観点1 知識・技能	観点2 思考・判断・表現	観点3 主体的に学習に取り組む態度
内 容	計算やグラフを書くなど、 数学的に処理することができるか。	先を読む力、根拠を説明する 力など身に着けているか。	数学的活動の楽しさや数学の 良さを実感し、活用としているか。
評 価 材 料	☆定期考査 ☆小テスト等	☆定期考査 ☆小テスト等 ☆レポート	☆定期考査 ☆小テスト等 ☆ワーク ☆提出物 ☆テスト振り返り

(2) 評価は観点を算出し、達成値により評定を算出します。

## 7 その他

(1) 長期休業中等に状況に応じて補充教室を行います。

## 第3学年 外国語（英語）

### 1 担当教員

### 2 学習の進め方

- (1) 授業のスタートは「帯学習（60秒単語チェック、60秒基本文チェック  
英語の歌、じゃれマガ、読みトレ100など、  
毎回短時間くり返し行う学習）」を行います。
- (2) 授業は教科書、ワークシート、ワークを使用して、たくさんの活動（トレーニング）を行っていきます。
- (3) 今年度も「話す」「聞く」「書く」「読む」活動をやっていきますが、今年度は、特に「読む活動（速読）」に力を入れていきます。

### 3 学習（授業）上の注意点

- (1) 間違いを恐れず、積極的に活動に取り組みましょう。
- (2) 間違いを恐れず、大きな声で、はっきりと発言しましょう。  
※授業は失敗する場所です。失敗することで必ず成長できます。
- (3) 英語は「実技教科」です。授業では、勉強（トレーニング）方法を伝えます。  
家に帰ってから自分でトレーニングができるように、授業中は活動に集中しましょう。
- (4) 忘れ物をしないように、気をつけましょう。  
持ち物：教科書(2・3年生)、ノート（各自準備）、ファイル、辞書、めきめき English、  
読みトレ100、Chrome Book

### 4 家庭学習の進め方 ※皆さんの力を一番伸ばせるのが「家庭での繰り返し学習」です。

- 1年生の3学期に伝えたトレーニングをたくさん行いましょう。
- (1) 3年生では1、2年生の時に比べて、授業中に音読をする回数が少なくなります。  
しかし、音読はとても大切です。リスニング力を鍛えるために、家庭学習での音読は短時間（3～5分）でいいので、毎日続けましょう。
  - (2) EWNについては、1学期は続けていきます。自分のレベルに合わせて、英文を選び、「音読→暗唱→暗写」を続けていきましょう。英作文については4月からは Google Classroom に提出してもらいます。
  - (3) スタディサプリを活用し、自分のレベルに合わせて、1・2年生で学習した文法を復習していきましょう。

- (4) 英文を読んで内容を理解できるようになるためには、知っている「語い（単語・熟語）」を増やすことが必要です。単語を覚えるトレーニングも行っていきましょう。その際は「単語を書く」のではなく、「日本語を見て英単語言う」「英単語を見て日本語言う」という「言う」トレーニングで何度も繰り返しましょう。「これだけは覚えよう基本単語1000」を使ってもかまいません。単語集を自分で購入する場合は、付属の音声CDやデータが付いているものを選びましょう。

## 5 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) 教科書本文（全て覚える必要はありません）、ワーク、授業中に配布するワークシートを音読して、内容を理解できるようにしましょう。
- (2) 音読&暗唱した英文をライティングノートに書く。※何も見ないで書けるようになるまで繰り返す。
- (3) 今回のテストから、初見英文をこれまでの定期テストよりも多く出題する予定です。

## 6 3年生での学習内容とテスト（予定）（授業時間は、週4時間 年間140時間）

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	Lesson1、 Listen1、Talk1	10月	Lesson6、Project 2, Reading Lesson 2
5月	Lesson2、 Listen2、Talk2 Lesson3、	11月	Speaking Test2 修学旅行の思い出 期末テスト Lesson7、Listen5、Read1
6月	Project 1、Reading Lesson1、 期末テスト Lesson4、Listen3、Talk3	12月	Lesson 8、Read2、Project3、 Reading Lesson 3
Le	Speaking Test1 日本文化紹介 ※1分間	1月	3年間の復習 After 20 years 原稿作成
8月	夏休みのため 授業なし	2月	After 20 years レポート提出 学年末テスト
9月	Lesson5、Listen4、Talk4、 中間テスト	3月	

## 7 評価・評定について

評価とは、英語で身につけてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける  
成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

### <観点別評価と評価材料>

#### **観点1** <知識・技能>

定期テスト、Speaking Test、基本文（2年生教科書）マスターテストなど  
Listening 活動、発表活動

#### **観点2** <思考・判断・表現>

定期テスト、Speaking Test、発表活動、授業中に行う Listening 活動・Writing 活動  
Speaking 活動・Reading 活動、レポート、PD ノート(Picture Describing ノート)

#### **観点3** <主体的に学習に取り組む態度>

定期テスト、Speaking Test、発表活動、授業中に行う Listening 活動・Writing 活動  
Speaking 活動・Reading 活動、レポート、提出物（EWN、めきめき）

## 8 備考（注意事項）

提出物については、提出期日を守り、遅れずに提出してください。

欠席・出席停止中など提出日に事情がある場合は、登校した初日提出してください。

また、提出日に提出できない理由がある場合は、必ず先生に申し出て、  
指示を受けてください。

## 第3学年 社会科

### 1 担当教員

### 2 学習の進め方

- (1) 3年生前半では歴史的分野と公民的分野を学習し、後半は公民的分野を学習する
- (2) 教科書に準拠して授業を展開する
- (3) 単元によってグループで話し合いや意見を交換する時間を設ける
- (4) 状況に応じて小テストを実施する

### 3 学習（授業）上の注意点

- (1) 授業は、専用の台紙（画用紙）に保管する授業プリントで学習を進める
- (2) 社会A（歴史・公民政治）と社会B（公民経済）はそれぞれ別にファイリングしましょう
- (3) 授業中に板書したこと、説明したことのうち、必要と思うことは積極的にメモをしましょう
- (4) 重要語句はマーカー・色ペンでチェックする等、授業プリントのまとめ方を工夫しましょう
- (5) 話し合い活動には積極的に参加しましょう

### 4 家庭学習の進め方

- (1) 復習をする場合には、授業プリントと教科書を照らし合わせ、よく確認しましょう。  
学習したことは忘れる前にワーク及びスタディーサプリーで確認することも大切です。
- (2) 予習をする場合には、教科書をよく読み、**太字**で表記されている重要語句を確認するようにしましょう。
- (3) 定期考査前には学習したことを（自分で）ノートにまとめてみることも有効な勉強方法です。  
授業プリント、教科書、ワークを活用して「ノートまとめ」をしてみましょう。

### 5 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) 授業ワークシートを中心に基礎・基本的な知識や技能を身に付けましょう
- (2) **計画的**にワークや学習用端末の問題に取り組み、知識が定着するようにしましょう。
- (3) 単元は知識を関連させて、総合的に理解することも大切です。自分の言葉で学習内容を説明できるようにしましょう。その上でも「ノートまとめ」は有効な勉強方法です

持ち物 歴史のとき→教科書・授業プリント・ワーク 必要に応じて Chromebook、のり

公民のとき→教科書・授業プリント 必要に応じて Chromebook、のり

※持ち物は全てロッカーに置いて構いませんが、授業開始の時には机上に準備した状態でいてください。

6 3年生での学習内容（授業時間は、週4時間、年間140時間）

月	学習内容	月	学習内容
4月	A 歴史 明治時代～第一次世界大戦 B 公民 第1部 現代社会	10月	A 公民 基本的人権、三権分立 B 公民 企業と生産
5月	A 歴史 世界恐慌～第二次世界大戦 B 公民 現代社会	11月	A 公民 国会内閣裁判所 B 公民 市場経済
6月	A 歴史 戦後～高度経済成長 B 公民 生活と文化	12月	A 公民 地方自治・財政 B 公民 金融
7月	A 歴史 これからの日本と世界 B 公民 現代社会を捉える枠組み	1月	A 公民 第4部 国際社会 B 公民 日本経済
8月	夏休み	2月	国際社会 問題演習、3年間のまとめ
9月	A 公民 第2部「政治」日本国憲法 B 公民 第3部「経済」経済活動	3月	第5部 課題探究学習

6 評価・評定について

評価とは社会科で身に付けてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で1～5の5段階でつけたものです。

<観点別評価と評価材料>

観点1 社会的事象への知識・技能

日本の国土と歴史、社会の仕組みに関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。

（評価材料）定期考査、小テスト、ワークや教科書での学習、その他状況に応じて課される提出課題など

観点2 社会的な思考・判断・表現

社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、公民や歴史に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。

（評価材料）定期考査、小テスト、ワークや教科書での学習、その他状況に応じて課される提出課題など

観点3 主体的に学習に取り組む態度

授業やグループワーク、調べ学習などに積極的に取り組み、よりよい社会の実現のために課題を主体的に解決しようとしている。学んだことをいかし、活用できている。

（評価材料）授業内での発言、グループでの話し合い活動に積極的に参加しているか

授業プリント・ワーク等の提出物、その他状況に応じて課される提出課題など

## 第3学年 理 科

### 1 学習の進め方

- (1) 【单元1】化学分野と【单元3】物理分野は、実験を中心とした授業を行います。
- (2) 【单元2】生物分野と【单元4】地学分野は、教科書や理科便覧を使い、調べ学習を中心とした授業を行います。

### 2 学習（授業）上の注意点

- (1) 毎回の授業で、教科書、理科便覧、ノート、クロームブック、赤ペン、青ペン、のりを持ってきてください。ワークは、指定したときに持ってきてきましょう。  
※ワークは「理科の完全学習（ノート付き）→青ワークと呼びます」と、「3年間の総まとめ問題集→猫ワークと呼びます」の2種類です。
- (2) 授業で配られるプリントは、基本的に「すべてノートに貼る」こととなります。プリントは、折りたたまずに、全面をはること。
- (3) 実験や観察では安全が第一です。事故は自分だけでなく、周りの人にも危険が及びます。薬品や実験器具・装置の使い方や注意点をしっかり聞き、十分に理解した上で、作業を行いましょう。
- (4) 実験台の上を整理し、集中して作業を行って下さい。片付けは協力して行いましょう。
- (5) わからないことはそのままにせず、積極的に質問をして理解を深めていきましょう。

### 3 家庭学習の進め方

- (1) 理科では、新しい発見をし、それを科学的に考えていく過程が大事です。したがって、基本的には教科書の予習をする必要はありません（実験操作や実験の注意点など、指示によって予習が必要な場合もあります）。
- (2) その分、授業の復習が大事です。ノートの開いたところには、**自主学習**とかいて、教科書・ノート、プリントをよく読み返し、その授業の**学習課題に関係するまとめや調べたこと**をかきましょう。また、ワークやスタディサプリで問題を解く練習などをしまししょう。
- (3) 自分で調べてもわからないことは、そのままにせず、積極的に質問してください。
- (4) 小テストの振り返りや定期テストのやり直しを行いましょう。

### 4 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) 教科書、理科便覧、ノート（プリント含む）をよく見直しまししょう。
- (2) 実験・観察の手順や、注意点、なぜそのような操作を行うか、何がわかるのか等をよく理解し、ノートにまとめまししょう。
- (3) 青ワークは「**理科の完全学習ノート**」（これを提出します）に、①自分で解く（鉛筆）、②調べて解く、確認する（青）、③丸付け、間違い直しをする（赤）のように、段階を踏んで取り組みまししょう。余白には、問題の解説（解き方）、計算方法、考え方のまとめなどをかきます。
- (4) 重要な用語は、覚えるだけでなく、説明できるようにすることで理解が深まります。
- (5) 計算や作図、グラフの問題は、繰り返し何度も行うことが大切です。

## 5 3年生での学習内容（授業時間は、週4時間 年間140時間）

月	学 習 内 容		月	学 習 内 容	
	理科Ⅰ	理科Ⅱ		理科Ⅰ	理科Ⅱ
4月	単元1: 化学変化とイオン	単元4:地球と宇宙	10月	単元2: 生物の成長と生殖	単元4:地球と宇宙
5月	単元1: 化学変化とイオン	単元4:地球と宇宙	11月	単元3: 運動とエネルギー	単元4:地球と宇宙
6月	単元1: 化学変化とイオン	単元4:地球と宇宙	12月	単元3: 運動とエネルギー	単元5:地球と私たちの未来のために
7月	単元2: 生物の成長と生殖	単元4:地球と宇宙	1月	単元3: 運動とエネルギー	単元5:地球と私たちの未来のために
8月	夏休みのため 授業なし		2月	1～3年生の総まとめ	単元5:地球と私たちの未来のために
9月	単元2: 生物の成長と生殖	単元4:地球と宇宙	3月	1～3年生の総まとめ	1～3年生の総まとめ

※理科Ⅰ（教員1）週3時間、理科Ⅱ（教員2）週1時間、担当します。

## 6 評価・評定について

3つの観点別でA・B・Cの三段階で評価します。

A…達成率 80%以上 B…50%以上 80%未満 C…50%未満

その後、これらの観点から5段階で評定をつけます

5…達成率 90%以上 4…80%以上 90%未満

3…50%以上 80%未満 2…20%以上 50%未満 1…20%未満

### <観点別評価と評価材料>

#### 観点1 【知識・技能】

- 科学的に探求する能力の基礎と態度を育む。(小テスト、定期テスト)
- 目的意識をもって観察、実験などを行い、データを整理してグラフなどにまとめる力を育む。(実験での取り組み、実験プリント、小テスト、定期テスト、実験装置の取扱いテスト)

#### 観点2 【思考・判断・表現】

- 科学的な見方を養うとともに、科学的に考える力を育む。(実験プリント、レポート、小テスト、定期テスト)

#### 観点3 【主体的に学習に取り組む態度】

- 自然の事物・現象に進んでかかわり、自ら課題に対して粘り強く取り組み、主体的に学習に取り組む。(授業・実験の取り組みの様子、提出物、ノート、定期テスト)

## 第3学年 音楽

### 1 学習の進め方

- (1) 前時の振り返り・本時の予定の確認
- (2) 発声練習、校歌
- (3) 合唱練習（パート、全体）、器楽練習（リコーダーなど）または鑑賞
- (4) ワークシート記入
- (5) 本時の振り返り・次回の予定

### 2 学習（授業）上の注意点

- (1) 苦手なことにも前向きに一生懸命取り組みましょう。
- (2) 周りに遠慮せず、豊かに自己表現をしましょう。
- (3) 楽譜やワークシートにしっかりメモをしましょう。
- (4) ワークシートや教科書の内容、わからないことをそのままにしないようにしましょう。

### 3 家庭学習の進め方

- (1) 授業時間内に未完成な部分は宿題となります。提出物は期日を守りましょう。
- (2) 実技テスト前は、家庭でも確認の練習をしましょう。  
インターネットの動画や音源を利用して実技の練習をするのも良いと思います。

### 4 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) 基本的にワークシートの内容や教科書に書いてあることを出題するため、配布されたワークシート等は紛失しないように管理しましょう。
- (2) 音楽記号や語句は正確に覚えられるようにしましょう。
- (3) わからないことはそのままにせず、質問しに来てください。

## 5 3年生での学習内容 (授業時間 週1時間 年間35時間)

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	歌唱：花、音楽史	10月	実技テスト（課題曲） 創作：旋律創作
5月	歌唱：花、音楽史 実技テスト（花）	11月	器楽：ギター（コード演奏） 実技テスト（ギター）
6月	鑑賞：ブルタバ（モルダウ） 鑑賞：カンタータ「土の歌」 歌唱：混声四部合唱（課題曲、各クラスの自由曲）	12月	器楽：ギター（弾き語り） 実技テスト（弾き語り）
7月	歌唱：混声四部合唱（課題曲、各クラスの自由曲）	1月	鑑賞：ポレロ
8月	夏休みのため 授業なし	2月	歌唱：校歌、卒業式の歌
9月	歌唱：混声四部合唱（課題曲、各クラスの自由曲）	3月	歌唱：校歌、卒業式歌

## 6 評価・評定について

評価とは、音楽で身につけてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

### <観点別評価と評価材料>

#### 観点1 【知識・技能】

定期テスト

実技テスト（姿勢・発声・発音・音色などの歌や楽器に必要な技能）

創作作品

提出物（ワークシート）

#### 観点2 【思考・判断・表現】

定期テスト

提出物（ワークシート）

#### 観点3 【主体的に学習に取り組む態度】

授業への取り組み（ワークシート）

提出物（ワークシート、振り返りカードなど）

## 第3学年 技術家庭科（技術分野）

### 1 担当教員

### 2 学習の進め方

- (1) 前時の振り返り・本時の予定
- (2) 作業の説明・諸注意
- (3) 作業
- (4) 片付け
- (5) 本時の振り返り・次回の予定

### 3 学習（授業）上の注意点

- ・ 技術の授業は教室、木工室、金工室を使用します。
- ・ 授業でプリントを配布します。板書された用語などをプリントに書き込むだけでなく、先生の説明も書き込むようにしましょう。
- ・ 安全な実習にするため、先生の説明を聞くときは聞き、作業や活動に取り組むときは集中して取り組みましょう。
- ・ 授業の終わりに授業のまとめをします。各自、授業で学んだことを記入しましょう。プリントは基本的に毎回提出ですが提出しない場合もあります。いつでも提出できるようにしておいてください。
- ・ プリントは各自クリアファイルを準備してに必ずファイルします。プリントが返却されたらすぐファイルに綴じる習慣をつけましょう。

### 4 家庭学習の進め方

- ・ 授業では必ずファイルが必要になるので忘れないようにしましょう。
- ・ 授業のプリントを復習しましょう。

### 5 テストに向けての学習の取り組み方

- ・ 期末考査、学年末考査の範囲の教科書、授業プリントを中心に学習しましょう。

## 6 3年生での学習内容（授業時間は隔週1時間 家庭科分野とあわせて年間35時間）

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	【D 情報の技術】 1-2 情報とコンピュータ	10月	2-1 双方向性のあるコンテンツによる問題解決
5月	1-3 情報の表現と伝達 1-4 情報セキュリティと情報モラル	11月	2-2 計測・制御のプログラミングによる問題の解決
6月	デジタル作品の設計と製作 はんこ	12月	2-2 計測・制御のプログラミングによる問題の解決
7月	デジタル作品の設計と製作 はんこ	1月	【C エネルギー変換 D 計測制御】 風力発電コンテスト ブレードの設計製作
8月	夏休みのため 授業なし	2月	【C エネルギー変換 D 計測制御】 風力発電コンテスト ブレードの設計製作 製作品の評価
9月	2-1 双方向性のあるコンテンツによる問題解決	3月	3年間の技術の振り返り <学習発表会>

## 7 評価・評定について

評価とは、技術で身につけてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

### ★ 観点別評価と評価材料

#### 観点1 【知識・技能】

生活や技術に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、生活と技術とのかかわりについて理解している。

\* 期末考査 \* 学年末考査 \* 製作品完成度

#### 観点2 【思考・判断・表現】

生活について見直し課題を見付けその解決を目指して自分なりに工夫し創造している。

\* 授業プリントの記入内容 \* 工夫された栽培観察記録 \* 製作進捗状況

#### 観点3 【主体的に学習に取り組む態度】

生活や指導について関心を持ち、生活を充実向上するために進んで実践しようとする。

\* 授業プリントの記入内容 \* 授業態度

## 8 備 考（注意事項・アドバイスなど）

- ・ 技術では危険な機械や道具を使用することが多いです。授業では怪我をしないよう安全に実習・作業を行っていかねばなりません。そのために集中して作業に取り組みましょう。
- ・ 技術室は、他学年の生徒も使用します。使用後の整理整頓を常に心がけ、次の生徒が気持ちよく使用できるよう心がけましょう。

## 第三学年 技術家庭科（家庭分野）

### 1 学習の進め方

- ・家庭科の授業は、教室、被服室を使用します。
- ・毎時間、ワークシートを配布します。板書したり、先生の話聞いてメモをします。
- ・授業の終わりには、今日のまとめを記入したワークシートを提出します。
- ・実技実習では、裁縫道具が必要です。

### 2 学習上の注意点

- ・チャイムと同時に挨拶ができるよう、準備や教室移動を行う。
- ・実技実習では、安全を第一に集中して取り組む。
- ・裁縫の実技があるので、玉どめ、玉結び、スナップボタン付けができるように復習しておく。

### 3 家庭学習の進め方

- ・学習した内容を家庭で実践する。
- ・授業ワークシートを参考に、教科書を復習する。

### 4 テストに向けての学習の取り組み方

- ・授業ワークシートや教科書を復習する。実技の流れを確認する。

### 5 3年生での学習内容

（授業時間は各週1時間 年間技術分野とあわせて35時間）

月	学習内容	月	学習内容
4月	幼児の生活と家族	1月	家族・家庭や地域との関わり
	① 幼い頃を振り返ろう	2月	① 家庭生活と地域との関りを考えよう
5月	② 幼児の体の発達について	3月	3年間の学習まとめ
	③ 幼児の心の発達について		
6月	④ 幼児の生活習慣の習得について		
	⑤ 幼児の生活と遊びを知ろう		
7月			
9月	リメイク小物の製作		
10月	生活の課題と実践		
11月	持続可能な社会		
12月	家族・家庭や地域との関わり		
	①家庭生活と地域のかかわり		

	②地域にクラス高齢者
--	------------

## 6 評価・評定について

評価とは、家庭科の学習で身につけてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

### ★ 観点別評価と評価材料

#### 観点1 【知識・技能】

- \* 定期考査、縫い方の実技検査、ワークシート、その他状況に応じて課される提出課題。
- \* 布を用いた製作における取り組み姿勢や完成品。

#### 観点2 【思考・判断・表現】

- \* 定期考査、ワークシート、教科書での学習、その他状況に応じて課される提出課題。

#### 観点3 【主体的に学習に取り組む態度】

- \* 授業への取り組み姿勢、よりよい生活の実現のために課題を主体的に解決している。
- \* 授業ワークシート、その他状況に応じて課される提出課題。
- \* 製作計画

## 第3学年 美術

### 1 学習の進め方

- (1) 基本的技法を身に付ける
- (2) 参考作品や資料を基にアイデアを練る。
- (3) 制作の効果的な順序を考え見通しを持つ。
- (4) 材料や用具を生かし意図に応じて工夫して表す。
- (5) 他生徒の作品の良さ、自分の作品の良さに気づき尊重する。

### 2 学習（授業）上の注意点

- (1) 表現することを楽しんで自ら進んで活動する。
- (2) 表現したいイメージや主題を明確にする。
- (3) 授業準備をする。（材料、資料やアイデアに関するものを含む）
- (4) 授業時間の中で完成できるように制作の時間配分を工夫する。

### 3 家庭学習の進め方

- (1) 発想するための情報を集める。常に美しいものを観るように心がける。
- (2) 学習内容に関連したものに興味を持つ。
- (3) 情報を発想や構想に生かして表現したり、鑑賞したりできる体験を積み重ねる。

### 4 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) 授業課題に関連した教科書、資料集、プリント内容を確認する。
- (2) 基礎知識を実技に活用できるようにする。
- (3) テスト範囲に含まれる内容に関連した事に関心を持つ。
- (4) 授業の振り返りをする。

## 5 3年生での学習内容（授業時間は、週1時間 年間35時間）

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	授業オリエンテーション 空想画の世界	10月	色と形の挑戦：完成・鑑賞 対話的鑑賞の活動
5月	空想画の世界：作品制作	11月	鑑賞：レオナルドとその時代 透視図法の理解
6月	空想画の世界 制作：彩色・完成 鑑賞：奈良京都の文化財	12月	自分を見つめる：自画像作品鑑賞 自画像：制作
7月	色と形の挑戦：アイデアスケッチ 鑑賞：抽象画	1月	自画像：制作
8月	夏休みのため 授業なし	2月	自画像作品：完成・鑑賞 メッセージを伝える絵手紙
9月	色と形の挑戦：制作	3月	メッセージを伝える絵手紙 鑑賞：作品展示会

## 6 評価・評定について

評価とは、美術で身につけてもらいたい3観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

### <観点別評価と評価材料>

- 観点1**
- ・ 期末テスト
  - ・ 実技テスト
  - ・ 作品・ワークシートなど

- 観点2**
- ・ 期末テスト
  - ・ ワークシート
  - ・ 作品、アイデアスケッチなど
  - ・ 作品解説カード

- 観点3**
- ・ 期末テスト
  - ・ 作品制作過程、提出 工夫の様子
  - ・ 授業への取り組み（授業カード）
  - ・ まとめワークシート

## 第3学年 保健体育

### 1 学習の進め方

- (1) ラジオ体操を行います。また、種目に応じて主運動に繋がる準備運動をします。
- (2) 集団行動を繰り返し行い、正しい整列や挨拶をできるようにします。
- (3) 小集団でのグループ学習で話し合い活動やアクティブラーニングを中心に進めます。
- (4) 必要に応じて学習カードやクロームブックを活用します。
- (5) 必要に応じて映像の活用や示範を行います。

### 2 学習（授業）上の注意点

- (1) 体調が悪い場合はすぐに伝えてください。
- (2) めあてを理解し、その達成に向けて取り組みましょう。
- (3) 用具の準備や片付け、環境整備をきちんと行いましょう。
- (4) 安全に留意して、真剣に取り組みましょう。
- (5) 学習した知識や技術を活用して考えたり話し合ったりしましょう。
- (6) 自分や仲間の動きを確認し、良い点や改善点について指摘できるようにしましょう。

### 3 家庭学習の進め方

- (1) 授業で学習したことの振り返り。
- (2) 映像を確認して、正しいフォームやポイントを押さえる。
- (3) 技術のポイントの確認。

### 4 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) プリントの見直しや復習プリントの確認をしましょう。
- (2) ルールや用具、安全上の留意点を記述できるようにしましょう。
- (3) 種目のルールや特性について、具体的に記述できるようにしましょう。
- (4) 動きのポイントやつまずき、改善策について、具体的に記述できるようにしましょう。

## 5 3年生での学習内容（授業時間は、週3時間 年間105時間）

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	陸上競技、体づくり運動	10月	バレーボール、保健
5月	陸上競技	11月	バレーボール、柔道
6月	体づくり運動、水泳、保健	12月	柔道、卓球、体育理論
7月	水泳	1月	陸上競技、サッカー
8月	夏休みのため 授業なし	2月	バスケットボール、保健
9月	ソフトボール	3月	バドミントン

## 6 評価・評定について

評価とは、保健体育で身につけてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

### <観点別評価と評価材料>

#### 観点1 【運動や健康・安全についての知識・技能】

運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けることができる。また、個人生活における健康・安全について理解するとともに、基礎的な技能を身に付けることができる。

（評価材料）\*スキルテスト \*ゲーム内評価 \*単元テスト \*定期考査

#### 観点2 【運動や健康・安全についての思考・判断・表現】

運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。

（評価材料）\*授業中の動き及び発言 \*レポート \*単元テスト \*定期考査

#### 観点3 【運動や健康・安全について主体的に学習に取り組む態度】

運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとしている。また、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をしようとするとともに、生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営もうとしている。

（評価材料）\*授業中の動き及び発言 \*レポート \*単元テスト \*定期考査